



養徳の森

令和6年6月18日(火)
学校だより 第3号
玉陵中学校長 松本 恒明

「大好き 玉陵」

「命」「人」「心」「物」を大事にする生徒に、そして、「**自律貢献**」

経験を重ねながら大きく成長！

子どもたちは様々な活動や経験を通して、大きく成長している様子がうかがえます。

(※学校HPの写真等もご参照ください)

5月19日(日)の体育大会では、学校全体で1つのものを創り上げる充実感と達成感を味わい、その後の学校生活にも好影響を与えています。どの学年・学級においても、授業に集中して学ぶ姿や積極的に発表する姿につながってきているようです。

5月28日(火)の生徒総会では、今年度の執行部や各委員会の取組について全校生徒で協議し、よりよい玉陵中を創っていくとする学校全体の熱意がうかがえました。受け身ではなく、自分事として受け止め真剣に話し合う様子に、参観された学校運営協議会の松川さん・荒木さんも感銘を受けていらっしゃいました。

6月3日(月)の小中合同引き渡し訓練においては、大雨を想定し地区ごとに小中体育館に分かれて実施しました。万一の場合を想定し、学校と家庭が連携しながら子どもたちの安全確保を図るための機会(訓練)となりました。小中合同ということで、中学生が小学生をリードする場面もうかがえ、自分で考えて行動する姿が出てきています。保護者の皆様方には大変お世話になりました。

6月6日(木)・7日(金)の前期中間テストにおいては、テストに真剣に臨む子どもたちの姿がありました。テストは自己の学びの状況を把握し、これからの学習に役立てるものです。点数や順位に一喜一憂することなく、見直しを丁寧に行い、課題の克服を目指し取り組むことが大切です。1・2年生は、4月に実施した玉名市学力・学習状況調査の個人票も返却していますので、ご家庭でもお子さんとともにご確認をお願いします。

6月10日(月)から、登校時に「部活動ごと挨拶運動」を生活安全委員会主催で実施しました。朝から子どもたちの明るくさわやかな挨拶がこだまし、とてもすがすがしい気持ちとなりました。挨拶は、人と人をつなぐとても大切なもので、コミュニケーションの基本となるものです。私も銀行員時代から教員となった現在まで挨拶の重要性を痛感してきました。子どもたちには、これからの時

代を生きていくうえで、人とのつながりを大切にしてほしいと思っています。その基本となるのがやはり日常生活における挨拶です。学校だけでなく、家庭や地域でも自ら積極的に挨拶する姿を期待しています。

6月13日(木)、小中学校運営協議会を実施しました。児童会や生徒会の各リーダーが学校生活について報告しました。生徒会執行部は生徒自ら発表内容や資料(パワーポイント)を準備し、堂々と発表してくれました。また、委員の方から地域貢献へのお願いを受け、染森会長が発した決意の言葉で会場に大きな感動が生まれました。

6月14日(金)のスクールボランティアでは、県北病院や学校の除草作業及びおもてなしフラワープロジェクトに向けての花植えを行いました。除草作業も花植えも子どもたちが一生懸命励む姿がうかがえました。この作業に取り組む熱心な姿が本校のすばらしさだと思います。玉陵中学校の誇りです。

また、同日放課後に中体連・通信陸上推戴式を行いました。各部等の代表による決意表明が強く心に響きました。

6月15日(土)、玉名荒尾中体連大会の野球競技とサッカー競技が先行実施されました。私はサッカー競技の会場長だったので、野球部の応援には残念ながら行けませんでした。ですが、試合後に教頭先生から「すばらしい試合でした。最終回到1点差まで追い上げました」という報告があり、心打たれました。また、サッカー部は、リードされて追いつける展開を重ね、最後まであきらめずに走り続ける子どもたちが印象的でした。試合終了後、涙を必死にこらえながら下級生を励ましていた3年生が、牛島先生の言葉を聞いて涙があふれ止まらない姿に、私も……。野球部・サッカー部のみなさん、感動する試合をありがとうございました。

6月22日(土)からは他の競技でも開催されます。心も体も整え、これまでお世話になった方々への感謝の思いを胸に全力で臨んでほしいと思います。

祝受賞！～玉陵小中学校運営協議会～

「令和6年度地域環境美化功績者(団体)」
玉陵小中学校運営協議会が、地域環境美化への功績が認められ、環境省から表彰されることとなりました。おめでとうございます。